



日本遠隔医療学会雑誌 第2巻 第2号
平成18年9月

Japanese Journal of Telemedicine and Telecare
Vol. 2 (2), 2006

JTTA 2006 in TAKASAKI

日本遠隔医療学会

Japanese Telemedicine and Telecare Association

日本遠隔医療学会雑誌 第2巻 第2号 平成18年9月

目次

原著

- ・ Web 上での広域コラボレーションにもとづく多次元画像診断支援システムの開発と遠隔医療への応用 (周藤 安造)68
- ・ 携帯電話を活用した Java™ アプリケーションによる生体情報モニタリングシステムの開発—ユビキタス端末である携帯電話の遠隔医療応用に関する考察— (木暮 祐一)71
- ・ 急性期入院加算取得病院と地域特性調査による医療連携の分析—厚生連病院所在の第二次医療圏を対象とした遠隔医療導入の可能性— (小磯 明)76
- ・ 携帯電話映像通信機能を用いた神経難病患者の在宅療養支援の試み—映像通信の質の検討— (中井 三智子)84

JTTA 2006 in TAKASAKI

- ・ 大会会場図とバス運行表90
- ・ 大会スケジュール91
- ・ 大会プログラム92
- ・ 学会長挨拶 (村瀬 澄夫)94
- ・ 大会長挨拶 (酒巻 哲夫)95
- ・ 地域でまもる健康と課題—地域住民の健康を支える足裏の研究— (芝山 江美子)96
- ・ 短歌と健康 (小林 功)97
- ・ 市民の遠隔健康教室 (酒巻 哲夫)98
- ・ 生活習慣病を予防する (矢島 鉄也)99
- ・ 群馬県医師会医療情報検索システム (ぐんぐんサーチ) の導入と今後の展開 (池谷 俊郎)100
- ・ 新時代の医療に期待すること (大谷 博美)101
- ・ がん診断の実態と遠隔病理 (神谷 誠)103
- ・ 上野村の保健活動 (齋藤 実千代)104
- ・ 防災ヘリによる救急搬送 (関口 輝義)105
- ・ 笑いの科学 (中島 英雄)106
- ・ 宇宙から見た地球の健康 (向井 千秋)107
- ・ JTTA 2006 in TAKASAKI 実行委員会108

・衛星インターネットを用いた過疎地・離島遠隔医療 (吉田 晃敏)	162
・オンデマンド型医療情報ネットワークの研究開発 —優先度設定基準の提案— (八木 廣)	164
・オンデマンド型医療情報ネットワークの研究開発 —医療情報の優先度決定方式に関する検討— (浪岡 智朗)	166
・オンデマンド型医療情報ネットワークの研究開発 —優先制御に適した中断候補経路抽出法の検討— (三上 大季)	169
・眼科手術画像からの有意領域自動抽出法 (林 弘樹)	171
・新見地区在宅医療介護への IPTV 電話利用の試み (その 2) —在宅酸素療法療養者と在宅リハビリへの応用— (太田 隆正)	174
・山間地域に暮らす高齢者の健康と医療に関するニーズ調査 —携帯型通信端末の活用に向けて— (杉本 幸枝)	176
・IPTV 電話を利用した遠隔医療用通信端末の開発 (谷 忠幸)	178
・疾患別管理を基本とした新しい病診連携システムの模索 (柏木 賢治)	182
・これまでの病診連携事業の実務的問題点と現状 (寺田 信幸)	184
・病診連携に関連する技術的課題と今後の展望 (鈴木 新一)	186
・地域における健康支援の継続と行動変容のモデル開発 (瀧澤 清美)	188
・健康を自己評価できる質問項目群とネットワーク型電子式健康記録の提案 —健診の在り方が大きく変化する時代に向けた IT ヘルスケアの提案— (長谷川 高志)	190
・e-nutrition system の妥当性の検証 —栄養素摂取量におけるシステムの妥当性— (齋藤 克哉)	194
・e-Nutrition system を用いた健康増進指導実情と課題 (菅野 渉平)	196
・WHO Global Observatory for eHealth の多角的解析 (中島 功)	200
・わが国における在宅医療機材の市場性 —遠隔医療展開のための開発指針— (富岡 康充)	202
・A survey on Pacific Island eHealth projects (近藤 勝則)	205
・在宅健康管理システムによる高齢者医療費の節減効果 —福島県西会津町の事例研究— (辻 正次)	208
・携帯電話機を用いた睡眠時生体情報収集装置の開発 —脈拍間隔ゆらぎを用いた睡眠状態の評価— (北脇 知己)	212
・携帯機を用いた遠隔医療のための画像取得方法に関する一検討 (岡山 聖彦)	214
・通信事業者に依存しない携帯電話向け遠隔モニタリングシステムの開発 (木暮 祐一)	216
・携帯電話のカメラとメール機能を活用した集中治療室に入院している 新生児の家族支援 (樋口 一美)	218
・在宅健康管理システムによる降圧効果 —健康診断での非利用者との比較研究— (林 美佳)	222

・在宅健康管理システムの有用性 ―心電図による不整脈の月別・年代別変動― (岩木 博美) ……	224
・海外外向者への健康管理端末を用いた健康アドバイス ―ヘルスフルを用いて― (鈴木 敏郎) ……	226
・Skype を利用したアトピー性皮膚炎中医学的漢方診療の試み ―TV 電話の活用事例 (中間報告)― (山口 典秀) ……	228
・遠隔リハビリおよび高齢者在宅運動指導のための動画像簡易計測システムの開発 (芦田 信之) ……	232
・コミュニケーション障害児への遠隔言語聴覚療法サービス提供の可能性 ―他分野との連携への応用も 含めて― (細川 淳嗣) ……	234
・遠隔計測による高齢者用生活リズムの取得と最適化の研究 (小林 明夫) ……	236
・高齢者の在宅介護負担を軽減した U ケアノート ―デジタル版介護ノートの活用事例― (大島 真理子) ……	238
・大腸生検における遠隔病理診断の有用性 (神谷 誠) ……	242
・インターネット対応の病理診断支援システムによるヴァーチャル病理検査室 (新井 桃子) ……	244
・2つのテレパソロジー実態調査の結果と課題 (東福寺 幾夫) ……	246
・総合病院病理診断業務の遠隔業務化に伴う効果費用分析 ―Web 版病理総合管理システムの活用― (菅野 渉平) ……	248
・IT を活用した生活習慣病指導のためのテレメンタリング研修会報告 日本遠隔医療学会主催 (村瀬 澄夫) ……	252
・厚生労働省科学研究費補助金研究「情報技術マネジメントによる高い医療の質と効率化 を可能にする遠隔医療 (テレケア) モデルの開発と評価と研究」2006 年度研究について ―遠隔医療調査研究班の活動報告― (村瀬 澄夫) ……	254
・ヘルスケア・コンタクトセンターの概念 ―新たなテレケアの枠組みの提案と国内外の現状調査の計画― (長谷川 高志) ……	255
・経済産業省 平成 18 年度 地域医療情報連携システムの標準化及び実証実験事業 ―「周産期電子カルテネットワーク連携プロジェクト」― (原 量宏) ……	257